

## 第7章

【顔認証付きカードリーダーをお使いの医療機関等へ】

# 本人確認を無人運転モード から目視確認モードにする 方法

1 概要説明-----	101
2 目視確認モードを利用する-----	104
3 目視による本人確認を実施-----	106
4 無人運転モードを利用する-----	108
5 暗証番号認証固定モードを利用する-----	110
6 画面項目説明-----	113

# 1 概要説明

顔認証付きカードリーダーによる本人確認は、**無人運転モード**と**目視確認モード**の2つがあります。

※ 設定を変更しない限り、無人運転モードで本人確認が行われています。



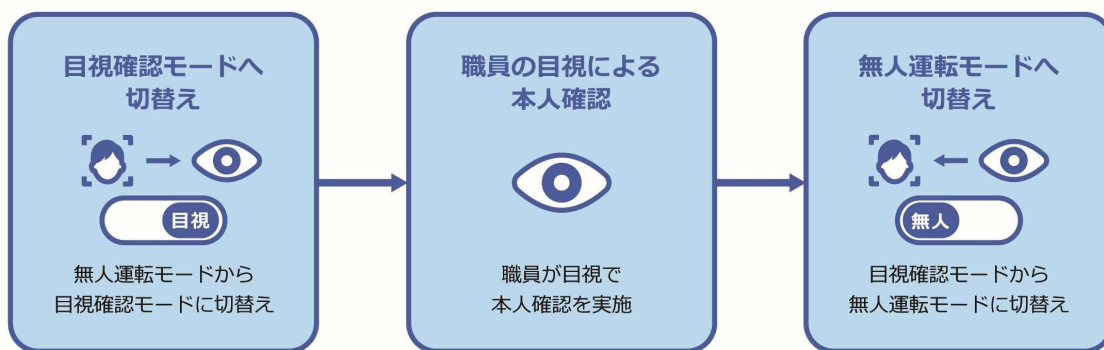
顔認証付きカードリーダーによる本人確認時に、マイナンバーカード内に格納された画像と、撮影された画像が大きく異なる等により、照合エラーとなることがあります。照合エラーとなる主なケースは以下のとおりです。

- ・ 顔面に生じた外傷や、組織の異常、変形、欠損などに対して手術などにより治療を行った場合
- ・ 乳幼児の場合（成長が著しく、顔の変化が大きいため）
- ・ けが等で顔に包帯、眼帯をしている 等

照合エラーになった場合は、顔認証付きカードリーダーの顔認証機能を停止して、資格確認端末を利用した医療機関等職員の目視確認による本人確認（**目視確認モード**）に切り替えます。

※ 切り替え時に、顔認証付きカードリーダーの取り外し等は不要です。

以下の順で、本人確認を実施します。



## 職員の目視による本人確認が終了したら、無人運転モードへ切り替えてください

職員の目視による本人確認が終了したら、目視確認モードを無人運転（又は暗証番号認証固定）に切り替え、顔認証付きカードリーダーによる顔認証が行えるようにしておきます。（切替えを忘れると、職員が目視確認しないと、資格確認ができません。）

※ 無人運転モード：顔認証時に、顔認証又は暗証番号入力のみを使用できます。（P.108 参照）

※ 暗証番号認証固定モード：顔認証時に、暗証番号入力のみが使用できます。（P.110 参照）



### 目視確認モードを利用する場合

目視確認モードは、資格確認端末 1 台に対して顔認証付きカードリーダー 1 台のみ利用できます。

目視確認モードへの切替えは、以下のいずれでも利用できます。

- ・ 管理アカウントの「OqsComApp」を利用（推奨）

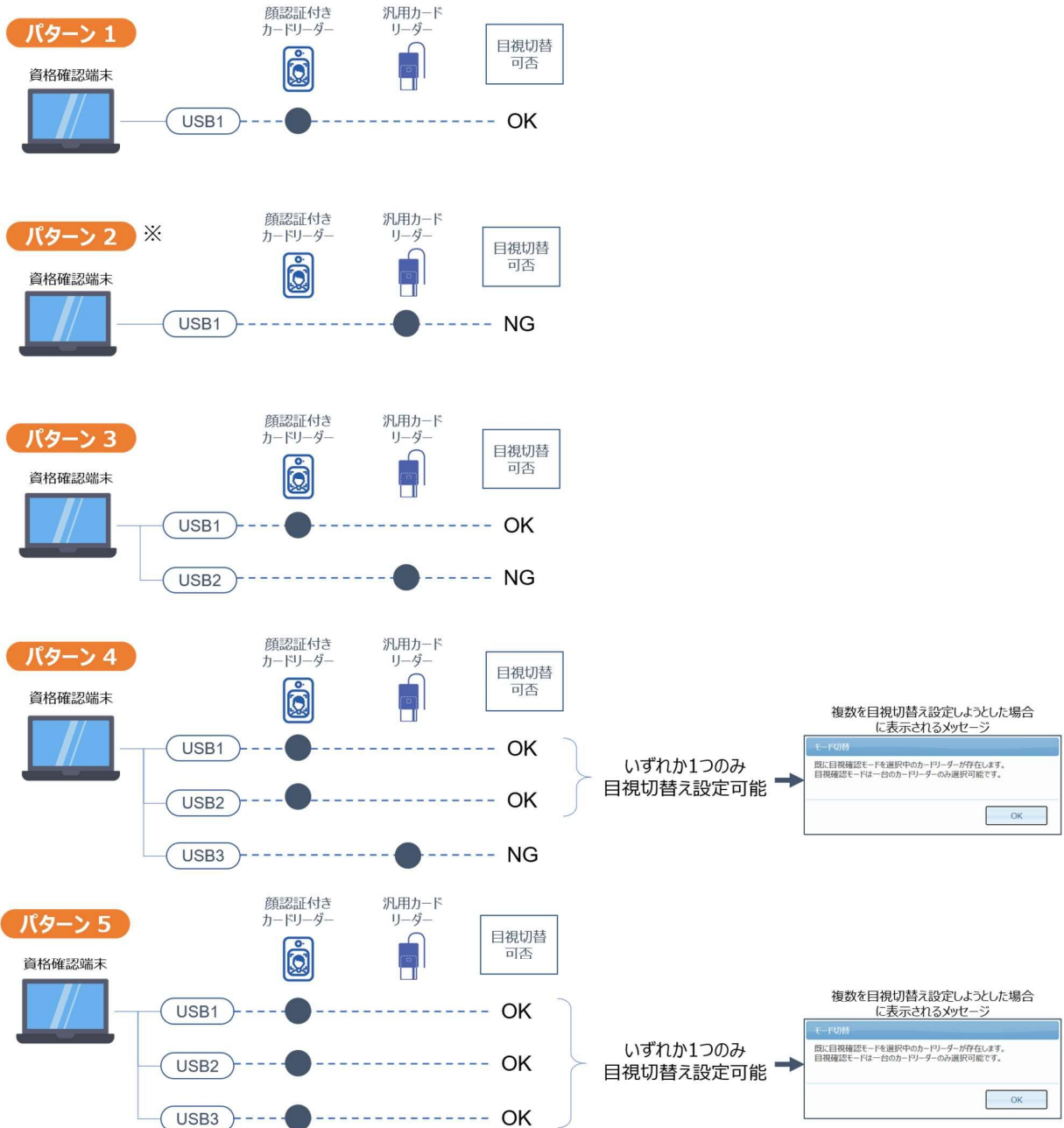
- ・ 職員ごとに Windows のログイン ID を切り替えて、ブラウザから利用

※ Windows のログイン ID を切り替えて利用する場合は、セットアップが必要です。詳しくは以下のマニュアルを参照して職員ごとにセットアップを実施してください。

「医療機関等向けセットアップ手順書（資格確認端末編）\_端末 1 台を複数職員が共有するマルチアカウント時の設定」

## (1) 目視確認モードの使用可能な接続パターンについて

1台の資格確認端末に接続する顔認証付きカードリーダー及び汎用カードリーダーの組合せのうち、目視確認モードが使用可能なパターンは以下のとおりです。



※ パターン2のみ、メニュー画面からの資格情報照会（マイナンバーカード）が利用できます。

## 2 目視確認モードを利用する

医療機関等の職員が、顔認証付きカードリーダーの運転モードを**無人運転モード**から**目視確認モード**に切り替えます。※目視確認モードへの切替えは、「OqsComApp」の管理者アカウントでのみ行えます。



### 1 メニューを選択する

【メニュー】の《顔認証付きカードリーダー管理》から《顔認証付きカードリーダー操作》をクリックします。

 画面項目説明 P.20

 補足

本メニューは、「本人認証用カードリーダーソフト」がインストール済の場合のみ表示されます。



### 2 「顔認証付きカードリーダー操作」が表示されます。

 画面項目説明 P.113

### 《現在のモード》を確認する

《現在のモード》は緑色のボタンになっているモードが選択されています。



### 3 目視確認モードに切り替える

《目視確認》をクリックします。



4 確認メッセージが表示されます。

《OK》をクリックします。



5 切替完了メッセージが表示されます。

**切替えを完了する**

《OK》をクリックします。



6 《目視確認》が緑色になり、「目視確認モード」に切り替わりました。

## 3 目視による本人確認を実施

医療機関等の職員が目視で患者本人の確認を実施します。



1 患者を目視で確認します。

2 資格確認日を確認・入力する

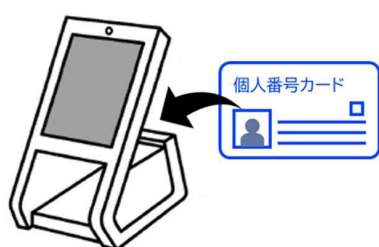


初期値として「本日日付」が表示されます。

日付を変更する場合は、西暦年月日の形式（例：2020年10月30日の場合、「2020/10/30」（年月日の区切りにスラッシュを含む））で入力するか、カレンダーから選択します。

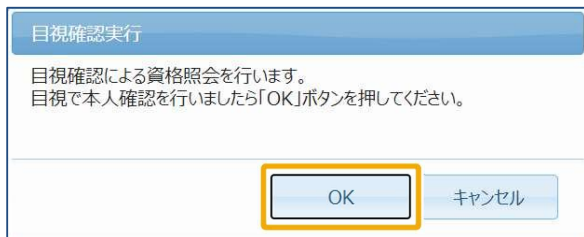
3 マイナンバーカードを目視確認する

《目視確認時利用項目》の《本人確認》にある《目視で本人確認完了》をクリックし、☑にします。



4 マイナンバーカードをセットする

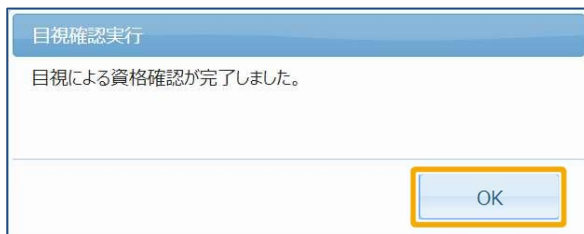
患者に顔認証付きカードリーダーに、置いてもらいます。



5 確認メッセージが表示されます。

**本人確認を実行する**

《OK》をクリックします。



6 処理完了メッセージが表示されます。

**本人確認を完了する**

《OK》をクリックします。



7 「顔認証付きカードリーダー操作」が表示されます。

引き続き、別の患者の本人確認を目視で行う場合は、操作1に戻ります。

目視確認を終了する場合は、「無人運転モード」に戻します。P.108 『4 無人運転モードを利用する』に進みます。



## 4 無人運転モードを利用する

医療機関等の職員が顔認証付きカードリーダーの運転モードを**目視確認**から**無人運転**に切り替えます。



### 1 《現在のモード》を確認する

《現在のモード》が「目視確認モード」になっていることを確認します。



### 2 無人運転モードに切り替える

《無人運転》をクリックします。



### 3 確認メッセージが表示されます。

《OK》をクリックします。



### 4 切替完了メッセージが表示されます。

#### 切替えを完了する

《OK》をクリックします。



5 《現在のモード》が「無人運転」に切り替わったことを確認します。